

令和3年度日本NGO連携無償資金協力署名式典

特定非営利活動法人 国境なき子どもたち
「カンボジア、パイリン州におけるコミュニティ・ラーニング・センター（CLC）の質の向上を通じた青少年の就労支援事業（第3年次）」

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
「プレアビヒア州における母子保健・栄養・水衛生改善事業（第3年次）」

令和4年3月9日（水）、令和3年度日本NGO連携無償資金協力に係る署名式典を当館多目的ホールにて執り行いました。同署名式では、三上正裕特命全権大使が、（特活）国境なき子どもたちの倉持真弓プロジェクト・コーディネーターとの間で「カンボジア、パイリン州におけるコミュニティ・ラーニング・センター（CLC）の質の向上を通じた青少年の就労支援事業（第3年次）」（供与限度額445,994米ドル）について、（特活）ワールド・ビジョン・ジャパンの李義真現地事業責任者との間で「プレアビヒア州における母子保健・栄養・水衛生改善事業（第3年次）」（供与限度額647,824ドル）について、それぞれの贈与契約書に署名しました。

（特活）国境なき子どもたちは、2000年よりカンボジアでの活動をされており、現在はバタンバン州を拠点とし、パイリン州において、職業訓練を通じた若者の就労支援等の活動に取り組んでいます。3年目を迎える本事業では、1年次より継続してきたコミュニティ・ラーニング・センター（CLC）の運営支援や職業訓練内容の見直し及び環境整備の支援に加え、新たに2つのCLCを建設するほか、これらを含む4箇所のCLCで資機材の供与を行います。この事業を通じて、未来ある若者たちが安定した職業に就き、より良い生活を送れるようになることが期待されます。



（特活）国境なき子どもたち
プロジェクト・コーディネーターとの署名の様子

（特活）ワールド・ビジョン・ジャパンは、2010年からカンボジア各州において地域開発を通じた保健衛生、教育及び収入向上に関する活動に取り組まれてきました。3年目を迎える本事業では、1年次から実施している母子保健、栄養、水・衛生に関する知識の啓発活動を保健センターや保健ポストの職員並びに地域コミュニティの中で継続して実施します。本事業を通じて、事業対象地における子どもたちの健康・栄養状態が益々改善し、地域住民の皆様が安全な水を利用できるようになることが期待されます。



（特活）ワールド・ビジョン・ジャパン
現地事業責任者との署名の様子



三上大使によるスピーチの様子

同式典では、三上大使がスピーチを行い、今回の支援が対象地域の人々に直接裨益し、カンボジアと日本の更なる友好促進につながることを願うと述べました。続いて（特活）国境なき子どもたちの倉持真弓プロジェクト・コーディネーター、（特活）ワールド・ビジョン・ジャパンの李義真現地事業責任者が、日本国民及び政府への感謝の意を表明するとともに、着実に事業を推進していくことを約束しました。

（了）

令和３年度 日本ＮＧＯ連携無償資金協力
贈与契約署名式典 三上大使スピーチ
２０２２年３月９日（水） 於：日本国大使館多目的ホール

特定非営利活動法人 国境なき子どもたち（KnK）

「カンボジア、パイリン州におけるコミュニティ・ラーニング・センター（CLC）の質の向上を通じた青少年の就労支援事業（第３年次）」

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン（WVJ）

「プレアビヒア州における母子保健・栄養・水衛生改善事業（第３年次）」

- 特定非営利活動法人 国境なき子どもたち
プロジェクト・コーディネーター 倉持(くらもち) 真弓(まゆみ)様
- 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
現地事業責任者 李(い) 義(うい) 真(じん)様
- 御列席の皆様

本日、日本ＮＧＯ連携無償資金協力案件に係る署名式典を開催できることを大変嬉しく思います。

日本ＮＧＯ連携無償資金協力は、日本政府が日本の国際協力ＮＧＯに対して、開発途上国・地域で実施する経済社会開発事業を支援する制度として２００２年から始まりました。カンボジアでは、２００２年から現在まで１４０を超えるプロジェクトを支援してまいりました。それぞれのプロジェクトが、カンボジアの方々の生活の質の向上に貢献するものとなっています。

本日署名された事業についてご紹介します。

はじめに、「特定非営利活動法人 国境なき子どもたち」が実施する事業に対しては、今回、日本政府から約４４万６０００米ドルを供与いたします。同団体は２０００年からカンボジアでの活動を開始され、現在はバタンバン州を拠点とし、パイリン州において、職業訓練を通じた若者の就労支援等の活動をされております。同地域は、カンボジアの中でも若者の中途退学率が高い州であり、将来につながる生活のための教育や技術習得の機会が失われている現状があります。この現状を改善すべく継続的に活動してくださっている、「特定非営利活動法人 国境なき子どもたち」に対して敬意を表します。３年目を迎える本事業では、１年次から継続してきたコミュニティ・ラーニング・センター（CLC）の運営支援や職業訓練内容の見直し及び環境整備の支援に加え、新たに２つのCLCを建設するほか、これらを含む４箇所のCLCへ資機材の供与を行います。本事業を通じて、未来ある若者たちが安定した職業に就き、より良い生活を送れることを願っております。

次に、「特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン」が実施する事業に対しては、今回、日本政府から約６４万８０００米ドルを供与します。同団体は

2010年からカンボジア各州において地域開発を通じた保健衛生、教育及び収入向上に関する活動に取り組まれてきました。長年に渡り、同地域の保健・衛生の改善に貢献されてきました「ワールド・ビジョン・ジャパン」の皆様に敬意を表します。3年目を迎える本事業では、1年次から実施している母子保健、栄養、水・衛生に関する知識の啓発活動を保健センターや保健ポストの職員並びに地域コミュニティの中で継続して実施します。本事業を通じて、事業対象地における子どもたちの健康・栄養状態が改善し、地域住民の皆様が安全な水を利用できることを期待します。

近年、発展目覚ましいカンボジアではありますが、貧困対策、保健、教育環境を含む社会開発など、人々の生活向上のために取り組むべき課題は山積していると思います。日本政府は、シハヌークビル港の整備や国道5号線の改修といった大規模なインフラ事業、また新型コロナウイルス感染症対策のための200億円規模の追加の円借款供与といった大型の支援も行っており、こういった大規模な支援がメディアに取り上げられがちですが、日本政府としては、日本NGO連携無償資金や草の根無償資金を用いた、地方部における地域住民により密着したきめ細かい支援を行うことも同等に重要であると考えております。新型コロナウイルス感染症拡大が世界的に問題となる中であっても、日本としては、今後とも、国際協力NGOの皆さまと連携し、様々な課題解決のお手伝いが出来ればと考えます。

本日御出席の皆様の御健康と御多幸、両国の友好のますますの発展を祈念致します。

ありがとうございました。



EMBASSY OF JAPAN
IN THE KINGDOM OF CAMBODIA

PRESS RELEASE

No.19 PR-22/EoJ

9 March 2022

**Japan Provides US\$ 1,093,818
for Promoting Community Health and Sanitation and Hygiene,
and for Capacity Building of Youth**

The Government of Japan has agreed to provide US\$1,093,818 in total for two recipient organizations under the framework, *The Grant Assistance for Japanese NGO Projects*. The Grant Contract was signed today between H.E. Mr. MIKAMI Masahiro, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan to the Kingdom of Cambodia, and the representatives of the two recipients respectively, to carry out the following projects:

1. ‘Capacity building of Youth in Pailin, Cambodia: Reinforcement of Community Learning Center (CLC) (Year3)’ (US\$445,994)

Recipient: Kokkyo naki Kodomotachi: KnK

In this project, KnK will continue to support youth, especially those who suffer from unstable jobs, lack of living skills, and dropping out of schools. For the third year of this project, two new CLCs will be constructed and four CLCs including two new CLCs will be equipped with learning materials. By providing enhanced vocational training as well as close support to youth, they can acquire skills which helps them to create a foundation for a better life in their future.

2. ‘Integrated Health, Nutrition and WASH Project in Preah Vihear (Year3)’ (US\$647,824)

Recipient: World Vision Japan: WVJ

In this project, WVJ will continue to conduct training and awareness raising sessions about health, nutrition, and WASH (Water, Sanitation and Hygiene) to health and rural development officers as well as communities in Preah Vihear province. These continuous activities from the first project year will contribute to improve the overall situation of feeding practices and usage of safe water in Preah Vihear province and helps children to grow healthier and stronger.

The Grant Assistance for Japanese NGO Projects started in Cambodia in 2002 to support activities by Japanese NGOs to help Cambodia's reconstruction and development efforts at the grassroots level. Since 2002, the Government of Japan has provided over US\$48 million for 145 projects, mainly in the field of primary education, health, agriculture and mine clearance in Cambodia.

Embassy of Japan in the Kingdom of Cambodia

Tel: 023-217-161, fax: 023-214-330

Email: eco.jpn@pp.mofa.go.jp

Website: <http://www.kh.emb-japan.go.jp>